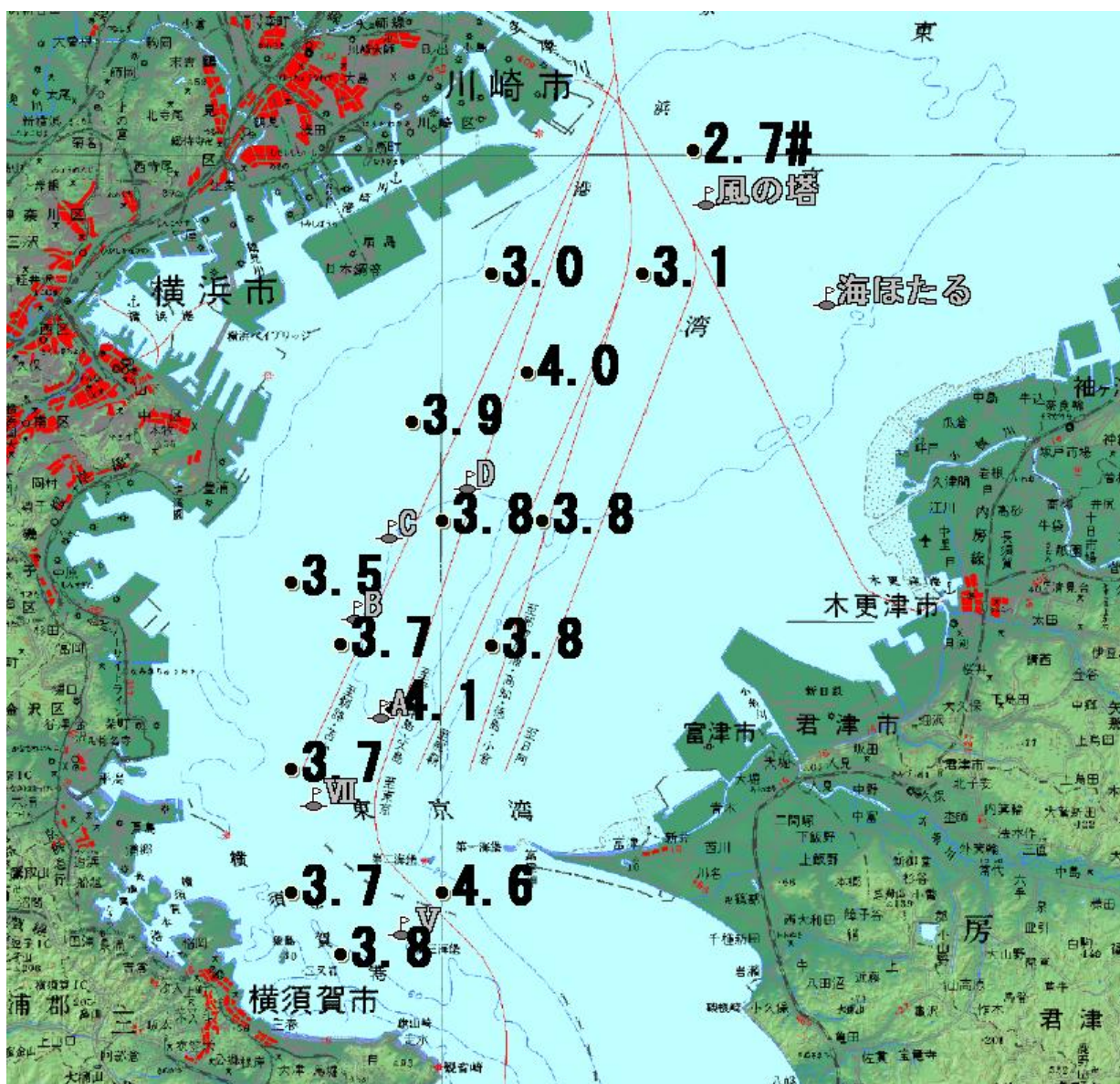


東京湾溶存酸素情報

漁業調査船うしおにより調査を実施しました。

- 所々に海草やごみ類がまとまって漂っています。ご注意ください。
- 植物プランクトンが増え、水色は悪い状態です。
- 水温は、表層で21~22℃台、底層では16~18℃台です。
- 塩分は、表層では淡水流入による低下で7~27台、底層では34台です。特に風の塔北側の表層で7台と非常に低い値でした。
- 海底付近の溶存酸素量は全般に高いですが、風の塔北側では水深23mの13~14m層に**貧酸素水塊** ($\leq 2.5\text{ml/l}$) が見られました。



発行 神奈川県水産技術センター
企画資源部 海洋資源担当
電話 046(882)2313

表層と底層の水温・塩分の差が大きいです。
表層の塩分は降水によって低下しています。